

カリキュラム

[日時] 毎週金曜日3時限目 12:30~14:00

[場所] 松山大学 8号館 845番教室

回数	開催日	テーマ	講師	内容
1	9/25 (金)	【開講式】 松山市の観光施策について	松山市長 野志 克仁 氏	みなさん、観光施策って知っていますか。観光地のPRだけではなく、松山市の取り組みについて紹介します。
2	10/2 (金)	松山の名所	伊予史談会 副会長 清水 正史 氏	「観光」、「名所」の語源とは？また、松山城や道後温泉、「日本の100選」に選ばれている地元の名所を紹介します。
3	10/9 (金)	ふるさと振興に向けた 着地型観光の推進	愛媛県経済労働部観光交流局 局長 佐伯 登志男 氏	着地型観光とは何か。これまでの発地型観光とは何が異なり、どのようにふるさと振興につながるのか。愛媛県の取り組み事例を交えて紹介します。
4	10/16 (金)	ものをつくるということ	砥部焼作家 スギウラ工房 杉浦 綾 氏	ものをつくることにまつわるあれこれと、それについて考えていることあれこれについて。同タイトルの映像もお楽しみに。
5	10/23 (金)	今日から俳人	萬翠荘館長、俳人 八木 健 氏	近代俳句の父といわれる正岡子規の生誕地、俳句の聖地と言われている松山で俳句の楽しみ方について語ります。
6	10/30 (金)	街の建築の見かた・歩き方	NPO瀬戸内アーキテクチャー ネットワーク 代表 白石 卓央 氏	松山城や道後温泉本館だけでなく、愛媛・松山の様々な「建築」の価値や魅力について考えます。地域資源としての建築に着目し、デザインや時代背景などの観点から捉え直すことで、地域の理解を深めます。
7	11/6 (金)	松山の民俗文化と伝統行事	松山東雲短期大学生活科学科 教授 森 正康 氏	松山の人にとっては当たり前、しかし外部の方にとっては興味深い松山の特徴的な地域文化のなかから秋祭りや年中行事について紹介し、読み解いていきます。
8・9	11/7 (土)	現地講習会(名所概要説明) 3コースから選択 ※松山大学生は必須、一般受講者は希望者のみ	・松山観光ボランティアガイド ・観光バスガイド ・現地案内人 他	主要観光地ガイドの現地研修。テーマに沿ったまち歩きにより松山を代表する観光資源に触れてみましょう。
10	11/13 (金)	ミュージカルを通じた 瀬戸内と四国の文化発信	(株)ジョイ・アート(坊っちゃん劇場) 代表取締役社長 越智 陽一 氏	四国と瀬戸内圏の歴史や伝統文化、偉人を題材にした舞台作品を手掛ける坊っちゃん劇場の活動についてお話します。
11	11/27 (金)	道後×アート=!?	道後アートプロジェクト 松波 雄大 氏 福岡 晋也 氏 二宮 敏 氏	「オンセナート2014」「道後アート2015」を地元で支える「道後アートプロジェクト」の皆さんそれぞれの立場と視点から、イベントの魅力や活動内容について語ります。
12	12/4 (金)	松山平野に残された戦国時代の城	松山大学法学部 教授 山内 譲 氏	松山平野に残された戦国時代のお城について語ります。
13	12/11 (金)	明治28年 子規と漱石	松山市立子規記念博物館 館長 竹田 美喜 氏	明治28年は、子規の人生の転機の年でした。日清戦争の従軍記者、戦中での大流血、神戸須磨での療養、漱石の愚陀仏庵に寄寓。その50余日の間、子規と漱石は新しい日本の文学の姿を語り明かしました。
14	12/18 (金)	【閉講式】(グループワーク) えひめ・松山の魅力について考えよう!	松山大学法学部 准教授 甲斐 朋香 氏	市民と学生の混合チームをつくり、地域の魅力発見・発信につながるアイデアを考えていただきます。
15	1/8 (金)	授業のまとめ(テスト) ※松山大学の学生のみ	松山大学法学部 准教授 甲斐 朋香 氏	—

※都合により内容・講師等が変更になる場合があります。